

小規模・高齢化集落支援モデル事業の取組事例

石川県金沢市かなざわし（金沢市中山間地域集落助け合い協議会）

1. 協議会の概要

（平成21年4月作成）

協議会名		金沢市中山間地域集落助け合い協議会	
構成員	市町村名	石川県金沢市	
	小規模・高齢化集落名	<small>つちこほら</small> 土子原集落	5名
		<small>すなごさか</small> 砂子坂集落	10名
	協定集落名	<small>まつね</small> 松根集落	3名
		<small>たけまた</small> 竹又集落	3名
<small>ふたまた</small> 二俣D集落		5名	
その他構成員			
対象農用地面積 5.6ha	田 5.6ha	畑 —	草地等 —
交付金額(総事業費) 60.0万円	水路、農道等保全管理支援事業 支援活動推進事業		28.0万円 4.0万円

2. 取組の概要

■地域の概要

● 金沢市の概要

金沢市は、石川県のほぼ中央に位置し、市域の南部を医王山山系に連なる山地が占め、北部は金沢平野を経て日本海に臨みます。

本市の農業は都市近郊型農業であり、平坦地域、砂丘地域、河北潟干拓地域、中山間地域、市街化地域に大別され、それぞれ地域の特性を活かして、水稻をはじめ、野菜、果樹、花きなど多種多様な農産物が生産されています。

中山間地域等直接支払制度については69集落協定、421.3ha、また農地・水・環境保全向上対策事業には17地区、905.4haにおいて取り組み、集落ぐるみによる農地、水路、農道等の保全活動を行っています。
(平成21年3月1日現在 世帯数187,785戸、人口456,518人、面積467.77km²)

● 小規模・高齢化集落の概要

土子原集落は市の北北東部(三谷地区)の山間地域に位置し、集落

戸数3戸(うち農家戸数3戸)、高齢化率62.5%であり、水稻主体の農業が行われています。過疎化・高齢化に伴って、農地及び周辺環境の維持管理が大きな課題となっています。中山間地域等直接支払制度の第1期対策に取り組んでいましたが、集落の高齢化が進み、農地の保全活動等を5年間継続して行うことが困難であると判断し、第2期対策の取り組みを断念しました。

砂子坂集落は富山県との県境に近く、市の北東部(医王山地区)に位置しています。集落戸数7戸(うち農家戸数6戸)、高齢化率52.9%であり、土子原地区同様農家戸数の割合が高く、水稻主体の農業が行われています。農業用水確保のため延長5.4 kmに及ぶ水路を有していますが、山づたいに流れる水路には管理通路がなく、草刈等の作業の際に危険が伴う等、維持管理は容易ではありません。集落の高齢化が進み、今後の農業生産に意欲はあるものの、農地保全活動の継続等が困難であることから、中山間地域等直接支払制度への取り組みを断念しました。

● 支援を行う協定集落の概要

松根及び竹又集落は、土子原集落と同じく三谷地区に位置する山間地域で、水稻主体の農業が行われています。松根集落は平成12年から、竹又集落は平成13年から中山間地域等直接支払制度に取り組んでいます。松根集落は非農家とも連携し、11人の参加者により、9.6 haの協定農用地等の保全や朝市での加工品開発・販売に、また竹又地区は17人の参加者により、10.2 haの協定農用地等の保全や営農組織の育成等に、それぞれ取り組んでいます。

二俣D集落は、砂子坂集落と同じく医王山地区に位置する山間地域で、水稻主体の農業が行われています。平成12年から中山間地域等直接支払制度に取り組んでおり、現在は26人の参加者により、12.3 haの協定農用地等の保全や営農組織の育成等に取り組んでいます。

■ 活動に至った経緯

市内の小規模・高齢化集落に事業への取り組みを打診したところ、土子原及び砂子坂集落において、他集落の支援が得ることが可能であれば取り組みたい、との同意が得られました。

支援を行う集落については、中山間地域等直接支払制度に取り組んでいる集落で、土子原・砂子坂の各集落と同じ地区内にあり、親交があること等を考慮して候補集落の選定を行いました。支援集落として参加が可能である集落への事前説明会を経て、意思確認を行い、事業の合意に至りました。

■保全管理活動の概要

- ・10月27日 協議会設立総会
 - ・3月31日 協議会総会
- 土子原集落
- ・11月22日 水路・農道の草刈、水路の江ざらい
 - ・11月29日 ため池の草刈、点検
 - ・3月7、8日 水路の目地補修
 - ・3月29日 水路の江ざらい
- 砂子坂集落
- ・11月23日、3月21日 水路・農道の草刈、水路の江ざらい
 - ・3月22日 水路・農道の草刈、農道清掃
 - ・3月28日 水路の補修・管理、水路清掃

■活動に取り組んだ後の効果

小規模・高齢化集落支援モデル事業に取り組むことで、労働力不足等によりこれまで行うことのできなかつた農地等の保全活動を精力的に行い、耕作放棄地の防止に繋げることができました。さらに他集落との交流を通じ、情報交換や地域の活性化を図りました。次年度も継続して農地の保全、水路や農道等の地域資源の保全に努め、多面的機能の維持を図っていきたいと思います。



ため池の草刈・点検(土子原集落)



水路の目地補修(土子原集落)



水路・農道の草刈(砂子坂集落)



水路の補修・管理(砂子坂集落)



協議会総会の様子